

## 平成 20 年度資金管理計画の策定について

会計管理局では、平成 20 年度資金管理計画を策定しましたので、お知らせします。

### 20 年度計画のポイント

金利の動向を始めとする今後の運用環境は予測が困難であることから、平成 20 年度の資金管理にあたっては、景気の変動や金融政策の先行きを一層注視し、安全性及び流動性を確保した上で、運用商品や預金先等の拡充などにより、効率的な保管・運用を目指していきます。

- 1 歳計現金等（年間平均残高 8,900 億円程度）  
日々の支払いに備えるための支払準備金は、圧縮に努めながら流動性預金で保管し、余裕資金は、定期性預金を基本として可能な限り長い期間保管します。
- 2 基金（年間平均残高 23,400 億円程度）
  - ・ 運用にあたっては、各基金の設置目的や積立と取崩の計画等を勘案して、運用期間及び運用商品の設定を行います。運用期間は、今後の金利動向を見極めつつ、最長 5 年程度の運用を一部実施する予定です。
  - ・ ラダー型ポートフォリオと一括運用を組み合わせ、安定的かつ効率的に資金を配分します。
- 3 準公営企業会計資金（年間平均残高 3,600 億円程度）  
日々の支払いに備えるための支払準備金は流動性預金で保管し、余裕資金は、定期性預金を基本とし、可能な限り長い期間運用します。

別添資料  
平成 20 年度資金管理計画

問い合わせ先

会計管理局 管理部 公金管理課 電話 03 - 5320 - 5918